

すみれ通信 115号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

☎ 0466-41-9980

Fax 0466-41-9981

メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp

1月



新年あけましておめでとうございます
今年もどうぞよろしくお願いいたします

「在宅医療・介護連携」多職種連携研修会報告

令和6年12月3日(火) 19:30~21:10

藤沢市医師会館2階ホール

ハラスメント問題を防ぐために
～弁護士が伝える法律知識と対処法～

講師：須田 友之 氏

LM 総合法律事務所パートナー弁護士

参加者：95名

(うち担当者7名)

アンケート結果 回収数 79名



職種	数
医師	13
歯科医師	1
薬剤師	7
看護職	35
歯科衛生士	1
介護職	1
ケアマネジャー	15
事務職	15

【アンケート記載事項の抜粋】

- ・パワハラ、カスハラともに院内での対応ルールが確立していることが重要だと思った。
- ・対応方法、手順の作成(マニュアル化)はとても参考になった。特に謝罪の対象、何に対して謝罪するのか明確にしていくこと、「できる事」「できない事」を明確にすることが大切。
- ・カスハラの対応方法が聞けて良かった。よく耳にする法令についてもあいまいだった点を理解できた。
- ・患者さんの中には「リピード型」に近い方もいて、これは一種のカスハラなのかなと思った。ただ「病気」でいらしているので時間のある時は付き合っ差し上げたいとは思っています。
- ・カスタマーハラスメントの対応がわかりやすかった。(一般的な注意事項) 聞く、記録する、役割を決める、本人情報を得る、客観的証拠を残す(ボイスレコーダーは相手の同意を得る必要はない)自分の身を守ること。
- ・カスハラについて事業所としての対応を明確にしておく必要性を改めて実感した。
- ・上司と部下の関係において、日頃の職場内での対応の参考にさせていただきたい。職場環境の改善を目指していきたい。
- ・ハラスメントについて何が該当するのかを改めて知るきっかけになり、参考になった。自分自身や診療所でのことについても考えられて良かった。
- ・ハラスメントは、与える側にも受ける側にもなりえらと思った。自分自身の行動に気を付けて(責任をもって)生活しなくてはいけないと思った。
- ・ケーススタディで対応も勉強したい。



ホームケアクリニック大庭

院長 坂本学映

2024年4月に藤沢市大庭に在宅診療を中心としたホームケアクリニック大庭を開設しました院長の坂本学映(さかもと たかあき)と申します。

現在は大庭地域を中心に、藤沢全域と一部茅ヶ崎市へ定期訪問し、24時間 365日可能な臨時対応を行っています。



高齢化に伴う心身の機能低下により在宅診療への移行をする方が多くいらっしゃいますが、その他に癌終末期、神経難病などの若年者の方にも専門外来と連携し在宅診療を行なっています。

在宅診療におけるかかりつけ医として、慢性的な病状の定期的なチェック、状態悪化時の対応、人生の最終段階に伴走する在宅診療を多職種連携にて対応しています。

当院の方針として在宅療養の現場では何事においてもバランスを重視することを大切とし、医療だけに偏らず、生活事情のみに偏らず、一つの意見に偏らず、患者・家族を含め多職種連携のバランスを保ちながら日々の診療を行っています。

今後高齢化がさらに進み在宅医療のニーズが今以上に高まり、診療を含めた在宅療養を行う方々が増えるにあたり、課題は療養を行う場所とそれらの担い手の確保となります。その課題への道のりの一つとして、各々地域での多職種連携の更なる構築が必須と考えます。当院もその連携の一翼になれるように邁進していく所存です。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



第2回 地区別懇談会開催のお知らせ

日時： 令和7年1月18日(土)

14:30~16:30

場所： 明治市民センター 3階ホール

テーマ： 認知症の患者さんへの多職種での
かわり



第3回 市民公開講座のお知らせ

日時： 令和7年1月25日(土)

10:00~11:30

場所： 鵜沼公民館 1階ホール

テーマ： 人生会議ってなに？

～あなたの希望を叶えるために～

講師： 奥野 滋子 医師

医療法人長谷川会 湘南ホスピタル

